

6R-R8

高周波増幅用5極管

6R-R8 は9ピン・ミニチュア型の5極管で、その相互コンダクタンスは特に高く、且つ電極間静電容量は小さく設計されています。従って

広帯域通信装置やテレビジョンの高周波増幅、中間波増幅用に適します。

カソード 傍熱型

ヒータ電圧	6.3V
ヒータ電流	0.3A

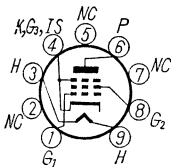
外形 21-1

電極間静電容量 (概略値) (外部シールド付)

グリッドとプレート間	最大	0.04pF
入力側		7.8pF
出力側		3.2pF

最大定格

プレート電圧	最大	180V
--------	----	------



6R-R8

東芝真空管ハンドブック

スリリーン最大	180V
プレート損失最大	3W
スクリーン損失最大	0.7W
全カソード電流最大	35mA
ヒータ・カソード間電圧最大	50V
動作例及び特性		
プレート電圧	150V
スクリーン電圧	150V
カソード・バイアス抵抗	110Ω
相互コンダクタンス	12500 μ S
プレート電流	13mA
スクリーン電流	4.5mA